

次世代の産業人材育成事業「しごと体感ゼミナール 2025 IN あまがさき」 開催結果報告

- 開催日時:令和7年9月6日(土)～7日(日)12:00～16:30
- 開催場所:尼崎商工会議所 各会議室
- 参加者数:231人(アンケート数でカウント) ※申込者数250名(令和6年度申込者数:351名)
性別 男子:103人 女子:121人 回答しない:7人
学年 4年:96人、5年:69人、6年:66人

<各セミナー参加者数内訳(複数講座参加を含む延べ人数)>

	9月6日	第1セミナー	第2セミナー	第3セミナー	合計	総定員	受講率
A	阪神電気鉄道(株)	10	10	10	30	30	100.0%
B	大阪富士工業(株)	9	10	8	27	30	90.0%
C	(株)マロン美容室	6	6	6	18	18	100.0%
D	(株)植木工務店	8	9	10	27	30	90.0%
E	ヒロセエンジニアリング(株)	10	9	10	29	30	96.7%
F	あやまたずtera	6	6	6	18	18	100.0%
G	デライトラボ	4	5	6	15	18	83.3%
H	(株)サンクスポート	6	8	5	19	30	63.3%
I	(株)ウエルネス	4	6	5	15	45	33.3%
J	(株)阪神機工商会	8	8	8	24	24	100.0%
	合計	71	77	74	222	273	81.3%
	9月7日	第1セミナー	第2セミナー	第3セミナー	合計	総定員	受講率
K	ネットトヨタ神戸(株)	6	6	6	18	18	100.0%
L	(株)ベイ・コミュニケーションズ	10	10	10	30	30	100.0%
M	nicoma	8	8	7	23	24	95.8%
N	(株)Atoms World	5	5	4	14	15	93.3%
O	(一社) みんなのあま咲き放送局	6	6	6	18	18	100.0%
P	(株)Professional	9	9	9	27	27	100.0%
Q	尼崎・伊丹市内郵便局	6	6	6	18	18	100.0%
R	(株)りそな銀行	5	13	6	24	45	53.3%
S	エンジニアリングサービス(株)	6	5	5	16	18	88.9%
	合計	61	68	59	188	213	88.3%

4. 開催の様子



今年度は通常の受付に加え、
空枠のあるセミナーを対象に
当日受付を実施



参加者は体験終了後の
お菓子のつかみ取りも
楽しんでいただいた。

・出展企業の様子（9/6）



A: 阪神電気鉄道(株)



B: 大阪富士工業(株)



C: (株)マロン美容室



D: (株)植木工務店



E: ヒロセエンジニアリング(株)



F: あやまたず tera



G: デライトラボ



H: (株)サンクスポート



I: (株)ウェルネス



J: (株)阪神機工商会



1 日目の同伴者控え室では、対象
年齢を問わず、マイプラレール台
紙作成体験を実施。

・出展企業の様子(9/7)



K: ネットヨタ神戸(株)



L: (株)ベイ・コミュニケーションズ



M: nicoma



N: (株)Atoms World



O: (一社)みんなのあま咲き放送局



P: (株)Professional



Q: 尼崎・伊丹市内郵便局



R: (株)りそな銀行

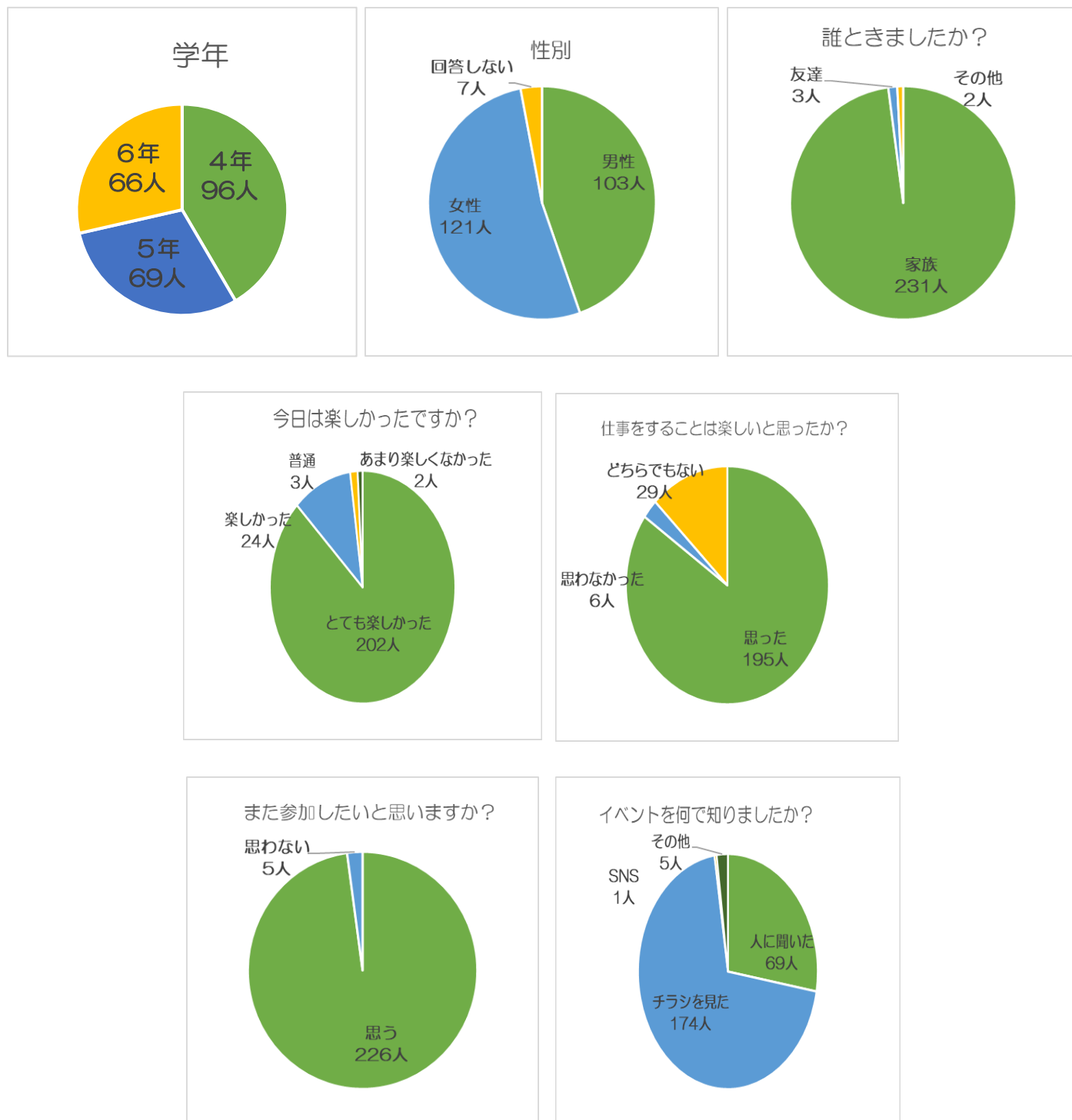


S: エンジニアリングサービス(株)



2 日目の同伴者待機スペースでは、手紙の書き方や切手について勉強した。

5. アンケート結果



他にやってほしかった内容がありますか？（自由記述）

- ・料理体験(4件)
- ・書籍の執筆や販売体験(2件)
- ・アナウンサーや芸能人の仕事(2件)
- ・ゲーム作成(2件)
- ・工作体験
- ・陶芸体験
- ・ペンキで絵を描く体験
- ・ロボット作成体験
- ・スポーツ体験

- ・魚の飼育体験
- ・声優や俳優の体験
- ・弁護士の体験
- ・水力発電や火力発電について学びたい

6. 次年度に向けて

今年度は、毎年人気の食品関係の出展企業がなかったこともあり、応募者数は昨年を下回り、250名の申込みに留まった。落選者については、従来通り第3希望までの選択制としたことで、0名に抑えることができた。

新たな取り組みとして、主に参加対象外である小学校低学年の同伴者を対象に、休憩スペースに予約不要で参加対象を限定しないイベントスペースを出展企業にご協力いただき、設置。9月6日(土)は「マイプラレール台紙作成体験(阪神電車)」、7日(日)は「手紙の書き方・切手の勉強会(郵便局)」を実施し、2日間で約200人が参加した。一方で、待機スペース利用者が十分に休息を取れなかったことや導線の確保が不十分であった点が課題として挙げられ、次年度以降は実施会場の変更や、会場内に別途休憩スペースを設けるなどの対策が必要である。

また、キャンセル者への対応として、今年度は当日追加受付を実施。より多くの小学生が体験に参加できるよう努めた。その結果、昨年度は体験全体の参加率が70%台であったのに対し、今年度は2日間とも80%台へと改善した。

課題は残ったものの、来場した保護者からは「子どもがイベントを心待ちにしていた」との声をいただき、事業が多くの方に期待されていることを実感した。事業の認知度が高まる中、参加スタッフや出展企業と改善点・気づきを共有し、次年度以降もより良い事業を目指して取り組む。

以 上